

令和3年度予算(案)のポイント

令和3年2月15日

小樽市財政部

1 予算編成のポイント

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある

※ 前年度比は、令和2年度当初予算額との比較

～新たな時代の変化に備え、近未来を見据えたまちづくり～

コロナ禍の時代変化にも柔軟に対応する日頃の備えや、ふるさと小樽の将来を志向したまちづくりを推進するため、総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」に沿って、将来を見据えた課題に向けた施策を展開

○主要事業（主に新規・拡充事業）

安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

訪問型産後ケア事業の実施、子どもの学習・生活支援事業を新たに高1まで試行実施、校務支援システムの試験導入、指導者用デジタル教科書の一部導入、就学援助費の拡大（PTA会費）、塩谷小学校耐震補強等工事の実施、銭函小学校のトイレ改修・屋内運動場暖房設備改修など

誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

新型コロナウイルス感染症相談窓口の設置を継続、障害福祉サービスに関する相談体制を24時間365日に拡充、第3次健康増進計画の策定に着手、国保の特定健診及び後期高齢者医療健診の課税世帯受診時自己負担を無料化など

強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

事業承継支援策の周知及びセミナー・個別相談会の開催、第3号ふ頭基部の緑地整備に着手、第3号ふ頭のクルーズターミナル及び駐車場整備の推進など

生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

除排雪機械の計画的な更新・整備（ロータリ除雪車、凍結防止剤散布車）、北海道新幹線新小樽（仮称）駅の活用に向けた協議を重点的に推進、新小樽（仮称）駅周辺駐車場等の多角的な設計検討を実施、立地適正化計画の策定に向けた策定委員会の開催及び市民アンケート調査の実施、生活バス路線運行事業者への補助、高機能消防指令センターの機器更新、消防水利施設の点検（花園3丁目）、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の更新など

まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

資源物分別収集にリチウムイオン電池を追加、清掃事業所第2事務所の解体、第2次公園施設長寿命化計画の策定に着手、第2次緑の基本計画の策定に着手、手宮緑化植物園の緑の相談所に休憩スペースを整備、旧緑小学校敷地に駐車場を整備、第3倉庫活用に向けた補助など

生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

総合博物館本館常設展示として気象衛星ひまわり8号の画像データを閲覧できる装置を設置、美術館の外壁等補修、手宮陸上競技場の附帯設備更新（円盤・ハンマー投用囲い）など


○不測の財政需要に対応するための財政調整基金の確保

当初予算編成後財調残高 8億3,500万円（前年同時期 1億1,700万円）

2 予 算 規 模

① 一般会計	562.4億円	(前年度当初予算比 ▲18.9億円 ▲3.3%)
② 特別会計	320.4億円	(前年度当初予算比 ▲1.2億円 ▲0.4%)
③ 企業会計	258.3億円	(前年度当初予算比 ▲2.7億円 ▲1.0%)
全 会 計 1,141.1億円		(前年度当初予算比 ▲22.8億円 ▲2.0%)

3 収 入 状 況

- 市税については、固定資産税は増加するものの、個人市民税と法人市民税の減少などにより前年度よりも減額で見込む。また、地方譲与税や交付金については、地方消費税交付金は減少するものの、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金などにより増額が見込まれる。
- 実質的な地方交付税については、国の地方財政対策を基に算出し、国勢調査による人口減や生活保護費の減などの基準財政需要額の減などがあるものの、前年度よりも微増で見込む。
- 令和3年度も引き続き、予算編成に財源不足が生じている。

- 過疎債ソフト分の充当及び財政調整基金の取崩しなどにより、収支均衡予算を編成。

① 一般財源収入	337.5億円 (前年度当初予算比 ▲0.6億円▲0.2%)
	[市税の減 ▲3.1億円]
	[地方譲与税・交付金の増 +2.4億円]
② 必要な一般財源	347.3億円 (前年度当初予算比 ▲6.3億円▲1.8%)
③ 財源不足額	▲9.8億円 (前年度財源不足額 ▲15.5億円)
④ 財源対策	過疎債ソフト分の充当(1.8億円)、 財政調整基金の取崩し(8.0億円)により、 収支均衡予算を編成

令和3年度予算編成の状況(一般会計・一般財源ベース)

※ 各項目で四捨五入しているため、
合計や増減額が合わないことがある。

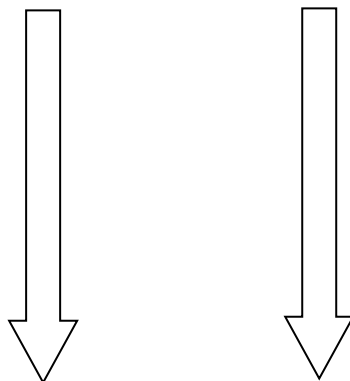
	令和2年度	令和3年度	
一般財源収入 (財源対策前) (A)	338.1	337.5	+増・▲減 [単位:億円] ▲0.6 (▲0.2%)



※ 主な増減

市 税	▲3.1
譲与税・交付金	+2.4
地方交付税	▲5.0
臨財債	+5.2

	令和2年度	令和3年度	
歳出充当一般 財源必要額 (B)	353.6	347.3	▲6.3 (▲1.8%)



※ 主な増減

人件費	▲2.0
扶助費	▲4.1
公債費	+3.3
行政経費	▲1.4
負担金補助	▲0.8
維持補修費	▲0.9
繰出金	+0.7

財源対策前の 財源不足額 (A) - (B)	▲15.5	▲9.8	▲5.7
------------------------------	-------	------	------



(財源対策) 過疎債ワ 財調取崩	2.2	1.8	
	13.3	8.0	← 16.3 (R2.5定補正後 財調残高)



過疎債ワト分の充当及び財政調整基金
の取崩しにより収支均衡

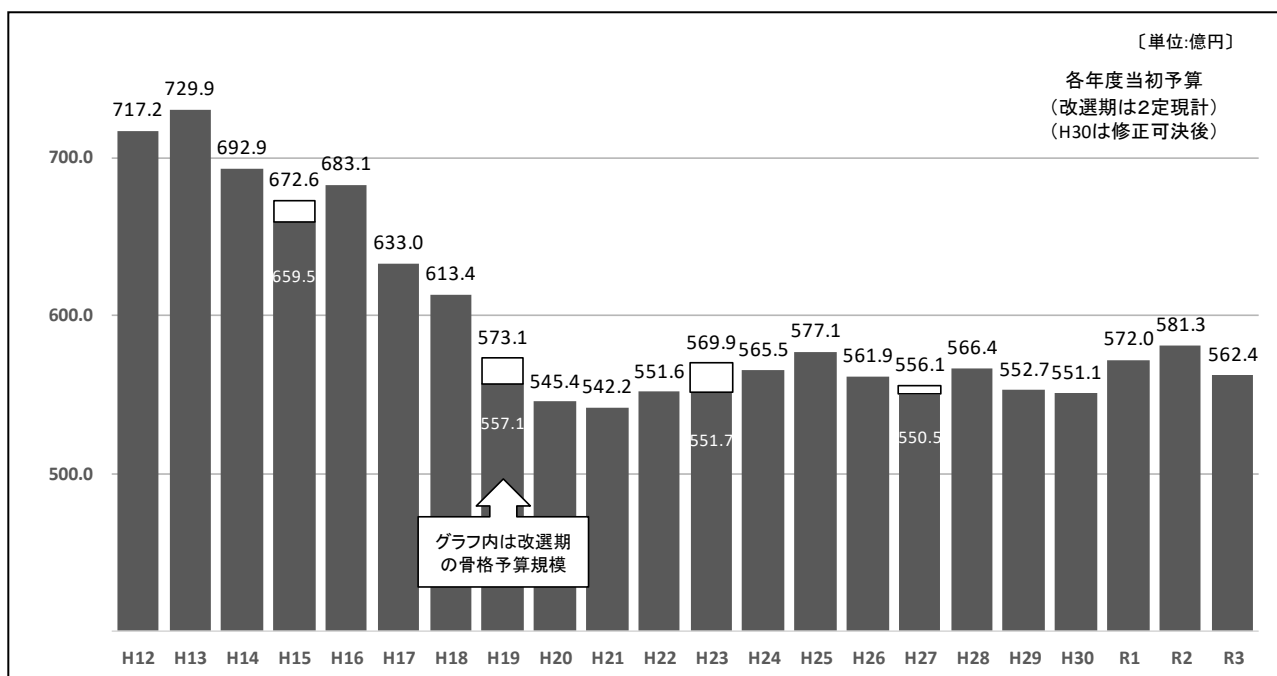
令和3年度一般会計予算(案)の概要

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある
 ※ 前年度比は、令和2年度当初予算額との比較

1 予算規模 562.4億円（対前年度当初予算比 ▲18.9億円）

	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
一般会計	581.3億円	562.4億円	▲18.9億円	▲3.3%

一般会計予算規模の推移



※予算規模 最大…平成11年度 749.1億円

※予算規模については建設事業費の増減による年度ごとの変動要素があるととも、平成27～30年度は除雪費にかかる経費の一部を当初予算では計上留保していますので、仮に除雪費にかかる経費の全てが当初予算から計上された場合、平成27年度562.7億円、28年度578.1億円、29年度565.7億円、30年度560.2億円となり、平成24～令和3年度までの10年平均では568.7億円となります。

2 歳 入

○市 税 135.0億円 (対前年度当初予算比 ▲3.1億円)

[単位:億円、伸び率は予算説明書比較]

区 分	令和2年度	令和3年度	増減	伸び率	
市民税	個人	42.7	37.9	▲4.8	▲11.3%
	法人	10.7	9.7	▲1.0	▲9.1%
固定資産税	62.2	65.8	3.6	5.8%	
都市計画税	10.8	10.9	0.1	0.1%	
たばこ税	9.1	8.6	▲0.5	▲4.9%	
その他	2.6	2.1	▲0.5	▲16.7%	
合 計	138.1	135.0	▲3.1	▲2.2%	

○譲与税・交付金 38.8億円 (対前年度当初予算比 +2.4億円)

(主な増減)

地方消費税交付金(▲1.0億円)、地方特例交付金(+3.9億円、うち新型コロナ減収補填特別交付金+3.8億円)

○地方交付税 145.4億円 (対前年度当初予算比 ▲5.0億円)

○臨時財政対策債 17.8億円 (対前年度当初予算比 +5.2億円)

[単位:億円、伸び率は予算説明書比較]

区 分	令和2年度	令和3年度	増減	伸び率
地方交付税	150.4	145.4	▲5.0	▲3.4%
普通	141.5	136.0	▲5.5	▲3.9%
特別	8.9	9.4	0.5	5.2%
臨時財政対策債	12.6	17.8	5.2	41.6%
合 計	163.0	163.2	0.2	0.1%

※ 令和3年度の普通交付税は、2年度決算見込額(139.2億円)より3.2億円減で計上

※ 令和3年度の臨時財政対策債は、2年度決算見込額(11.3億円)より6.5億円増で計上

○国・道支出金 150.2億円 (対前年度当初予算比 ▲0.6億円)

(主な増減)

国庫支出金 生活保護費負担金(▲4.1億円)、社会資本整備総合交付金(橋りょう長寿命化)(▲2.4億円)、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費補助金(▲1.9億円)、道路メンテナンス事業費補助金(橋りょう長寿命化)(+2.4億円)、重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費補助金(+1.8億円)、障害者自立支援給付費負担金(+1.7億円)

道支出金 国勢調査費委託金(▲0.7億円)、障害者自立支援給付費負担金(+0.8億円)、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(+0.8億円)、衆議院議員選挙委託金(+0.6億円)

○市 債 25.3億円 (対前年度当初予算比 ▲15.5億円)

(主な増減)

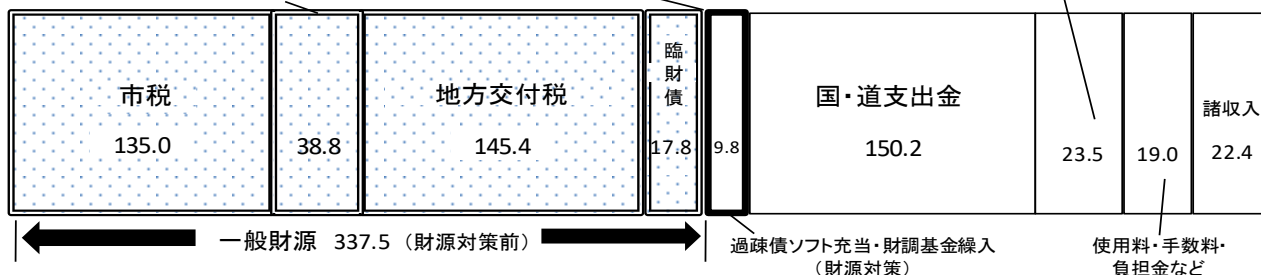
※臨時財政対策債を除く

除却事業債(▲1.7億円)、防災対策事業債(▲2.6億円)、廃棄物処理施設整備事業債(▲1.4億円)、港湾事業債(▲2.2億円)、消防庁舎建設事業債(▲6.9億円)、義務教育施設整備事業債(▲4.1億円)

譲与税・交付金

他会計繰入金 0.5

市債(過疎ソフト・臨時債除く)



3 歳 出 (経費別)

○人 件 費 92.7 億円 (対前年度当初予算比 ▲2.0 億円)
 (主な増減) 退職手当 (▲1.2 億円)、給料 (▲0.7 億円)

○扶 助 費 170.4 億円 (対前年度当初予算比 ▲5.5 億円)
 (主な増減)

生保扶助費 (▲5.2 億円)、子育てのための施設等利用給付費 (▲0.7 億円)、
 ふれあいバス事業費 (負担金補助へ変更) (▲2.6 億円)、訓練等給付費 (+2.8 億円)、
 介護給付費 (+0.5 億円)、障害児給付費 (+0.5 億円)、児童手当 (▲0.4 億円)

○公 債 費 52.5 億円 (対前年度当初予算比 +3.3 億円)
 (主な増減) 市債元金 (+3.5 億円、うち徴収猶予特例債分+4.6 億円)、市債利子 (▲0.2 億円)

○負担金補助
 及び交付金 48.6 億円 (対前年度当初予算比 ▲1.1 億円)
 (主な増減)

基金償還金 (▲1.6 億円)、産業廃棄物等処分事業会計借入金償還金 (▲0.2 億円)、
 ふれあいバス事業費 (+1.6 億円)、北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 (▲1.0 億円)、
 生活バス路線運行費補助金 (+1.0 億円)、鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 (▲0.8 億円)

○維持補修費 21.1 億円 (対前年度当初予算比 ▲2.3 億円)
 (主な増減)

除雪費 (▲0.2 億円)、清掃事業所第2事務所解体事業費 (+0.2 億円)、
 於古発川店舗等解体事業費 (▲0.5 億円)、旧緑小学校解体事業費 (▲1.5 億円)

○建設事業費 30.6 億円 (対前年度比 ▲13.2 億円)
 (主な増減)

防災情報通信設備整備事業(▲1.0 億円)、防災行政無線整備事業(▲1.6 億円)、国直轄工事費(▲2.0 億円)、
 廃棄物最終処分場拡張整備事業費(▲1.4 億円)、校内通信ネットワーク整備事業費(小・中)(▲4.0 億円)、
 旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費(+2.7 億円)、屋内運動場大規模改造事業費(長橋小)(▲2.1 億円)、
 高機能消防指令センター機器更新事業費(+1.1 億円)、(仮称)消防署手宮支署建設事業費(▲7.0 億円)

○繰 出 金 70.2 億円 (対前年度比 +1.9 億円)
 (主な増減) 病院事業(+0.2 億円)、下水道事業(▲0.3 億円)、国保事業(+0.4 億円)、介護事業(+1.7 億円)

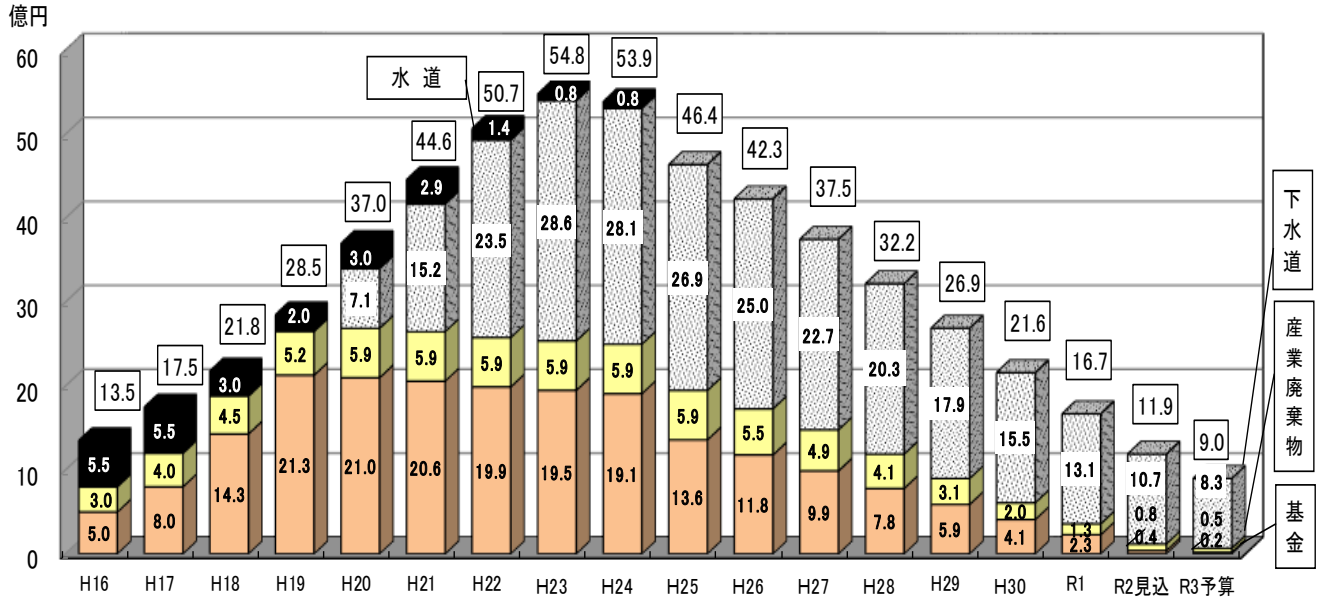
○そ の 他 76.3 億円 (対前年度比 +0.1 億円)
 (主な増減)

新型コロナウイルス等感染症対策資金基金積立金(+0.6 億円)、ふるさと応援基金積立金(+1.9 億円)、
 小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金積立金(+0.6 億円)、ふるさと納税関係経費(+1.0 億円)、
 国勢調査費(▲0.7 億円)、中小企業経営安定健全化資金貸付金(▲3.2 億円)、受診・相談センター設置事業
 費(+0.8 億円)、選挙費(+0.6 億円)

人件費	扶助費	公債費	負担金補助・交付金	建設事業費	繰出金	その他
92.7	170.4	52.5	48.6	30.6	70.2	76.3
← 義務的経費 315.6 (56.1%) →			維持補修費 21.1			

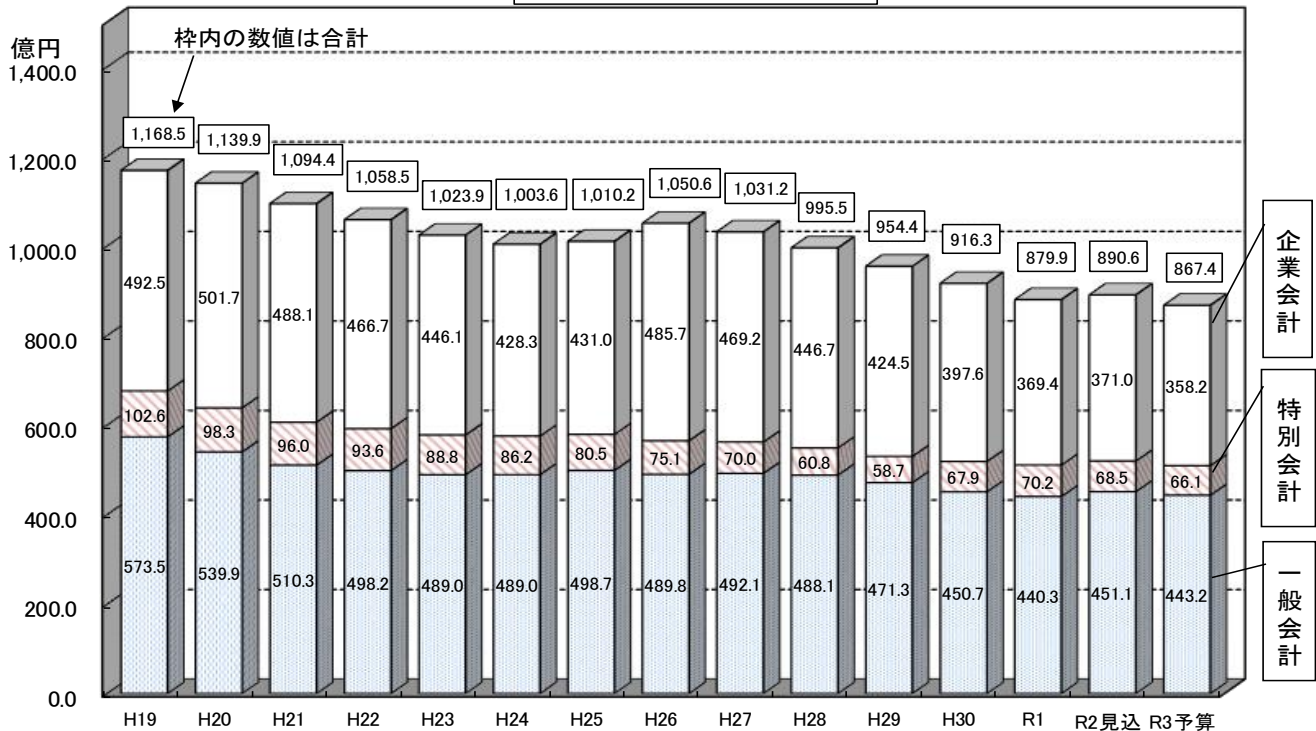
4 他会計等借入金の残高
令和3年度末の残高見込み 9.0億円（対前年度比▲2.9億円）

他会計等借入金年度末残高の推移



5 市債残高（全会計）
令和3年度末の残高見込み 867.4億円（対前年度比▲23.2億円）

年度末市債残高の推移



※市債残高 最大…平成11年度 1,424.0億円

※簡易水道事業は、平成29年4月に特別会計から企業会計へ移行

※産業廃棄物処分事業における借入分の償還は、令和2年4月以降は一般会計へ移行